

2月22日（金） 1階D室 9：00～9：40

1 単元名 ことばであそぼう

2 単元について

単元	○ことばの世界を豊かにし、語彙を拓げる。
目標	○ことばと出会う楽しさと、ことばでつながるこちよさを実感する。

朝、教室のベンチを円く並べ、子どもたちが集まるとサークル対話が始まる。自分の伝えたいことがあるときに発表し、みんなが質問したことに答え、選ばれるとみんなで「あかちょう」（こくごちょう）に書く。「あかちょう」に書くときは、質問の内容も加え、みんなでくわしく分かりやすい文にしている。家庭でのできごとや通学の様子、教室で見つけたことなど、自分たちの身の周りの生活から「ことば」の学習が始まる。毎日続けることで、話す内容が少しずつ長くなり、くわしく表せるようになってきた。伝えたいことがある子たちは「きいろちょう」（絵だよりちょう）に文を書いてくる子もいて、「書く」ことにも慣れてきた。

これまでに、かぞえうたや詩、しりとりや早口言葉、俳句、川柳、短歌などを読み、ことばのリズムを楽しんできた。また、自分の名前や同じことばを使ってアクロスティック（折句）を作ったり、『ことばあそびうたをつくろう』（東京書籍）で、オノマトペ（擬音語・擬態語）を集めて「ことばあそびうた」を作ったりしてきた。『それほんとう？』（松岡享子作）のように、同じ文字で始まることばを集めて「ことばあそびうた」を作る活動にも取り組んできた。

さらに、子どもたちがことばの世界を豊かにし、語彙を拓げ、ことばの力を活用するために、「ことばであそぼう」という単元を設定した。ここでは、これまでに作った「ことばあそびうた」を一つ選び、ファミリーで工夫して発表し、伝え合うことで、ことばのおもしろさを共有し、ことばでつながるこちよさを実感する時間にしたい。

3 学習指導計画（4時間目／全6時間）

- (1) それぞれが作った「ことばあそびうた」をファミリーで工夫し合う。 (1時間)
- (2) ファミリーで一つ選び、ことばのおもしろさが伝わるように読み方、発表の仕方を考える。 (2時間)
- (3) 「ことばあそびうた」の発表を聞き、おもしろかったところを話し合う。 (本時1／2時間)
- (4) おもしろかったところ、工夫したところなどを振り返る。 (1時間)

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

ファミリーで作った「ことばあそびうた」を一つ選び、ことばのおもしろさが伝わるように工夫して発表し、ことばでつながるこちよさを実感する。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 発表する「ことばあそびうた」を読む練習をする。	・ 身体でリズムを感じながら読めるようにする。
2 ファミリーごとに発表する。	・ ことばのおもしろさが伝わるようにファミリーで読み方、発表の仕方を工夫するようにする。
3 発表し合い、よかったところ、おもしろかったところなどを話し合う。	・ 聞き終わったら、おもしろかったことなど、感想を伝え合えるようにする。